科目名				担当教員
ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）				清水　冬樹
科目コード	単位数	スクーリング単位	履修方法	配当年次
CC3091	2	1	RorSR（講義）	2年以上
履修登録条件		「ソーシャルワークの基盤と専門職」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。		
生成AI利用レベル		レポート　：C	試験（スクーリング含む）　：C	

科目の概要

■科目の内容

実践場面を事例として取り上げつつ、ソーシャルワークに関わる基本的なことについて、主に以下の点に着目しながら学ぶ

1）社会福祉士の現場の現状と課題
2）ソーシャルワークの価値と倫理
3）ソーシャルワークの及ぶ範囲
4）ワーカーとクライエントの関係性
5）ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と関連性、それぞれのレベルへの介入

■到達目標

1）ソーシャルワークの価値と倫理について説明できる
2）事例からソーシャルワークの実際について説明できる
3）ワーカーとクライエントの関係性の捉え方について理解できる
4）事例を踏まえて、ミクロ・メゾ・マクロレベルを一貫して捉えつつ、ソーシャルワークの実践のあり方を説明することができる

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人と社会の理解力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価 40%＋スクーリング評価 or 科目修了試験 60%

■教科書・参考図書

【教科書】（「ソーシャルワークの基盤と専門職」と共通）

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座［共通科目］11 ソーシャルワークの基盤と専門職（共通・社会専門）』、中央法規出版、2021 年

※「ソーシャルワークの基盤と専門職」で配本のため、この科目での教科書配本はありません。

（スクーリング時の教科書）上記教科書を参考程度に使用し、配付する資料を中心にして講義を行います。

【参考図書】

1）東洋大学福祉社会開発研究センター編著『社会を変えるソーシャルワーク制度の枠組みを越え社会正義を実現するために』ミネルヴァ書房、2020 年
2）稲沢公一、岩崎晋也『社会福祉をつかむ第３版』有斐閣、2019 年
3）稲沢公一『援助関係論入門』有斐閣、2017 年
4）フレデリック・G・リーマー（2001）『ソーシャルワークの価値と倫理』中央法規出版、2001 年
5）日本社会福祉士会編『改定社会福祉士の倫理―倫理綱領実践ガイドブック―』中央法規出版、2009 年
6）久保紘章・副田あけみ編著『ソーシャルワークの実践モデル心理社会的アプローチからナラティブまで』川島書店、2005 年
7）太田義弘・秋山薊二編著、中村佐織・齊藤順子・谷口泰史・佐野真紀共著『ジェネラル・ソーシャルワーク』光生館、2002 年
8）山辺朗子著『ジェネラリスト・ソーシャルワークにもとづく社会福祉のスーパービジョン：その理論と実践（新・MINERVA 福祉ライブラリー）』ミネルヴァ書房、2015 年

スクーリング

■スクーリングで学んでほしいこと

今日、社会福祉が対象として捉えてきた人たちへの支援について、社会的な同意や理解が得られない場面に遭遇することがあります。私たちの問題として捉え、社会的な解決を目指すために、ソーシャルワークではどのようなことが求められるのか、事例等を用いて一緒に考えていきます。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	社会福祉士の現場【第６章第２節】	自治体・民間の社会福祉サービス実施機関等を学ぶ 社会福祉士の業務に見られる「拡大と限定」について理解するソーシャルワーカーと社会福祉士の差異について学ぶ
2	専門職論【第６章第１節】	専門職の成立条件を理解する 認定社会福祉士制度が説明できるようになる 「脱専門職化」の苦境を理解する ソーシャルワークの担い手の特権について理解する
3	ジェネラリストソーシャルワーク【第８章第１節、第２節】	ジェネラリストソーシャルワークの変遷を踏まえながら、日本で求められているソーシャルワークについて学ぶ マネジメントとソーシャルワークの差異を学ぶ
4	援助関係論【教員配付資料】	援助関係の構造について現象学を手がかりに学ぶ
5	ソーシャルワーク実践の構造【第７章】	エコマップを描きながら、ソーシャルワークの構造を理解する
6	ソーシャルワーク実践の視点【第７章】	ミクロ・メゾ・マクロ実践の展開のあり方を理解する
7	多職種連携【第８章第３節】その１	他の専門職との連携について、言葉の共有を手がかりに学ぶ
8	多職種連携【第８章第３節】その２	市民（団体）との連携について、個人情報保護を手がかりに学ぶ
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

■講義の進め方

スライドおよび配付資料を中心に講義を進めます。教科書も使用します。

■スクーリング評価基準

とくに到達目標記載内容についての理解を問います（自筆のノートのみ持込可）。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

スクーリングの講義内容に記載してあるキーワードについて、事前に学ぶようにしてください。また、様々な媒体を手がかりにソーシャルワーカーの実践について理解して、スクーリングに臨むようにしてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25 時間）

配付資料やテキストを見直しつつ、自筆ノートの作成をするようにしてください。

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	ソーシャルワーク専門職の概念と範囲 【第６章第１節】	ソーシャルワーカーが専門職として位置づく上で、今日までどのような議論がなされてきたのかを理解する。 キーワード：フレックスナー、グリーンウッド、秋山智久、専門職の条件、仲村優一、「ソーシャルワーク専門職である社会福祉士に求められる役割等について」	ソーシャルワーカーが専門職であるための条件について、その歴史に着目しつつ整理してください。
2	ソーシャルワーク専門職の概念と範囲 【第６章第１節】	ソーシャルワーカーの独自性と専門性について、生活という観点から理解する。 キーワード：生活者、職能団体	社会生活支援・地域支援の専門性とその必要性について、身近な事例や福祉系の特集番組などを参考にして理解を深めてください。 職能団体については、HP 等を検索してみてください。
3	社会福祉士の職域と役割 【第６章第２節】	社会福祉士が活躍する様々な領域について、その範囲が拡大した背景も踏まえて理解する。 キーワード：児童福祉法、介護保険法、障害者総合支援法、生活困窮者自立支援法、MSW、SSW、地域生活定着支援センター、独立型社会福祉士	社会福祉士が働く職域の拡大していく一方で、限定的なサービスが構築されてきていることが、近年の社会福祉サービスの特徴です。この点を自身の言葉で説明ができるようになると良いです。
4	多様な組織・機関・団体における専門職	ソーシャルワーカーが関わることが想定される社会資源について理解する。	ソーシャルワークの実践を担うさまざまな職種や職場、他業種などを具体的に調べてみてください。

	【第６章第３節】	キーワード：ハローワーク、特定非営利活動法人、福祉事務所、児童相談所、身体障害者更生相談所、知的障害者更生相談所、配偶者暴力相談支援センター、社会福祉協議会、地域包括支援センター、国際 NGO	その際、都市部と地方の違いについても整理できると良いと思います。
5	ミクロ･メゾ･マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象その１ 【第７章第１節】	ミクロ、メゾ、マクロの意味について理解する。 キーワード：ミクロレベル、メゾレベル、マクロレベル	他の対人援助専門職とソーシャルワークが対象とする範囲を比較しながら理解を深めてください。
6	ミクロ･メゾ･マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象その２ 【第７章第１節】	ミクロ、メゾ・マクロレベルの相互関係性について、概念図や事例を探しながら理解する。 キーワード：システム	ミクロ、メゾ・マクロレベルの相互関係性を福祉系の番組などを参考しながら考えてみてください。
7	ミクロ･メゾ･マクロレベルにおけるソーシャルワークの展開その１ 【第７章第２節】	ミクロレベルのソーシャルワークの捉え方を理解する。 キーワード：診断主義、機能主義、環境モデル、物語モデル	ソーシャルワークにおけるクライエントの生活課題の捉え方について、キーワードを手がかりとしながら整理してください。
8	ミクロ･メゾ･マクロレベルにおけるソーシャルワークの展開その２ 【第７章第２節】	メゾレベルのソーシャルワークの捉え方を理解する。 キーワード：家族、地域、コミュニティ、学校、職場、組織	メゾレベルにおけるソーシャルワークの展開について、キーワードを手がかりとしながら整理してください。
9	ミクロ･メゾ･マクロレベルにおけるソーシャルワークの展開その３ 【第７章第２節】	ソーシャルワークのグローバル定義を踏まえて、マクロレベルのソーシャルワークの捉え方を理解する。 キーワード：社会変革、社会開発、社会的結束、エンパワメントの解放と促進	ソーシャルアクションの事例を探しながら理解を深めてください。
10	総合的かつ包括的な支援におけるジェネラリストの視点その１ 【第８章第１節】	これまでの社会福祉の議論で着目されてきた児童福祉や障害者福祉といった縦割りによる理解ではなく、各領域を貫く実践の視点について学ぶ。 キーワード：ジェネラリスト	テキストに記載されている事例を手がかりに、生活問題はどのように発生したり発見されたりしているのか考えてみてください。普遍的な生活課題の捉え方が見えてくると思います。
11	総合的かつ包括的な支援におけるジェネラリストの視点その２ 【第８章第１節】	ジェネラリストソーシャルワークの変遷について踏まえた上で、共通基盤としてとしてのソーシャルワークの価値と倫理、知識、技術の体型について学ぶ。 キーワード：ケースワーク、グループワーク、コミュニティオーガニゼーション	ジェネラリストソーシャルワークの変遷について確実に理解できるようにしておいてください。

12	ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な支援の意義と内容その１ 【第８章第２節】	地域共生社会の実現に関わる資源の捉え方について学ぶ。 キーワード：フォーマルサポート、インフォーマルサポート、資源開発	地域共生社会の実現について、導入の経過や課題について確実に理解・説明できるようにしておいてください。
13	ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な支援の意義と内容その２ 【第８章第２節】	多機関・多職種の連携、協働による包括的支援体制の構築のあり様について理解する。 キーワード：コンボイモデル、コミュニティディベロップメント	ソーシャルサポートネットワーキングについて、まずは概念としてしっかりと理解できるようにしておいてください。また、テキストにはフードバンクについての記載があります。ぜひ、どのような実践なのか、実施団体のHP等を見ながら考えてみてください。
14	多職種連携およびチームアプローチの意義と内容その１ 【第８章第３節】	多職種連携、チームアプローチの意義と内容について理解をする。 キーワード：協働、共同、協同	キーワードに挙げた３つの言葉の意味について必ず理解しておいてください。また、テキスト p.290 から記載がある事例を読んだ上で、多職種をつなぐ視点について考えてみましょう。
15	多職種連携およびチームアプローチの意義と内容その２ 【第８章第３節】	多職種連携・多機関連携によるソーシャルアクションについて、事例を手がかりに理解をする。 キーワード：ソーシャルアクション、情報の共有	テキスト p.294 にある表 8-3 の意味について、具体的に説明できるようにしておきましょう。

■レポート課題

１単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
２単位め	①具体的な事例を取り上げながら、ソーシャルワーカーがクライエントの生活の構造を把握する意義について、あなたの考えを 1,000 字以内で論じなさい。 ②地域共生社会の課題を、「市民」「ソーシャルワーク」「ケースマネジメント」という語句を用いて、あなたの考えを 1,000 字以内で論じなさい。 【①②両方必要】1,000 字以内とはなっていますが、800 字以下の場合は採点の対象としません。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

レポートの書き方に関する一般的なマナーやルールをしっかりと守って記述してください。特に引用や参考にした文献等は必ず記載しましょう。

【1 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

【2 単位めアドバイス】

① 具体的な事例をかならず取り上げてください。事例はテキストやネット等を参考にして大丈夫です。ただし、出典等を必ず記載するようにしてください。ご自身の経験等は一切受理しません。生活の構造を捉えなければならない理由について、ソーシャルワークの変遷も触れられると、より説得力が出てくると思います。この課題がきちんと説明できるようになると、ソーシャルワークの固有性が語れるようになります。

② この課題では、地域共生社会の意図と地域社会や現在の社会情勢の齟齬の理解と、ソーシャルワークとケースマネジメントの関係についての理解度を図ることを目的としてします。

科目修了試験

■評価基準

1）科目の内容、ポイントを十分に理解できているか。

2）出題の内容を理解し、設題の意図をきちんと踏まえ、論じられているか。

3）単なる説明ではなく、自身の意見や考えを十分に示すことができているか。

4）適切な文章表現であり、一定量以上の分量でまとめられているか。